

Case Study

支部ケース・スタディ

北陸支部

iBeacon(アイビーコン)を活用した 観光ナビゲーション実証実験について

となみ衛星通信テレビ(株)

業務部企画営業課長

加賀谷 一幸



「となみチューリップフェア」でICT活用の実証実験を実施

毎年ゴールデンウィーク期間中に30万人近くの入場者を集める、地域最大のイベント「となみチューリップフェア」。砺波市はチューリップの栽培面積が日本一を誇り、期間中は会場に650品種250万本のチューリップが咲き誇ります。



650品種250万本のチューリップが咲き誇る「となみチューリップフェア」

このチューリップフェアにおいて、弊社となみ衛星通信テレビ(株)では自治体との連携のもと、毎年ICTを活用した実証実験を実施してきました。会場でのフリーWi-Fiをはじめ、観光ナビゲーションアプリ「SkyWare」等を展開してきています。

Wi-Fiについては2014年度弊社協力のもと、正式に「砺波防災情報ステーション」(総務省平成25年度補正予算防災情報ステーション等整備事業)として、チューリップフェア会場であるチューリップ公園をはじめ、市内44カ所に整備しました。これは数年前からケーブルテレビでのWi-Fi実証実験を砺波市と協力して進めてきた成果であると考えます。

今年は3月に北陸新幹線開業後の初めてのフェアということで、弊社でも新しい技術を活用した、より観光客

となみチューリップフェア
×
となみ衛星通信テレビ
スマホ向け情報配信の実証実験中!
実証実験期間 2015年4月23日(木)～5月6日(水・振休)
実施場所 チューリップ公園内及び周辺

**ビーコン (iBeacon) を活用した
チューリップフェア情報配信**

スマホで試してみよう!
① スマホアプリ「ハッピーのろし」を
インストールして起動します (無料)
② チューリップ公園内のビーコン設置
ポイントに近づくことで通知音とともに
画面に表示が出来ます。場所に応じた
情報をゲットできます!

**スマホを持って
フェアに行こう!**

こちらもお試し下さい!
街歩き観光ナビゲーションサービス on SkyWare
「富山となみ野(五箇山チューリップ郷平谷戦場)」
実際の風景の中に
情報が表示されます!

お問い合わせは
となみ衛星通信テレビ株式会社 ☎ 0120-476-764 (受付時-17:30)
一般電話 番 0763-22-7600 <http://www.tst.ne.jp/>

「となみチューリップフェア」でのビーコン実証実験のチラシ

の利便性の向上に寄与することを検討する中で、「ケーブルビジョン(株)」(本社:東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティW22階)からビーコンについての将来性や有用性をご紹介いただき、「iBeacon(アイビーコン)」を活用することにしました。

「iBeacon」はビーコンと呼ばれるブルートウスの微弱電波を使ったスマホ向けの情報発信サービスで、スマホに専用アプリをインストールすることにより、周辺のイベント情報や観光情報がプッシュ通知される仕組みです。ビーコン端末の半径10m程度に近づくと、スマホ画面にビーコン端末に応じた情報が表示されます。通知情報をタップすると、指定したURLや画像、HTML埋め込み動画等にリンクが可能です。



ビーコン端末



今回のビーコン端末は乾電池により動作するものを利用したため、設置の自由度は高かった

スマホ用アプリについては弊社エリアのソフトウェア開発会社「日本ソフテック(株)」(本社:富山県南砺市川除新888番地2)が開発中の「ハッピーのろし」を実験的に利用することになり、準備を進めました。

ビーコン端末をチューリップフェア会場に16個、会場以外の観光地にも25個を設置しました。設置する場所ごとに、情報を表示させるものと、表示させずに通過情報をカウントのみさせるもの(ステルス)を設定しました。期間中のアプリインストール累計数は、iOS 86件、Android 34件、合計120件という結果になりました。アプリのインストール条件(iPhone4S以上かつiOS7以上、Android4.3以上)が厳しく、インストールできない、インストールできても動作しないというケースもありました。

アプリによるビーコンへの接触のログを収集し、行動履歴や滞在時間を調査することができ、少ない件数なりにも分析を実施したところ、次のような傾向をうかがい知ることができました。



ビーコン通知画面

- 今年の連休は前半の天候が良く、5月3日がピークとなった。5月4日は雨天となり、それ以降のカウントは極端に減った
- チューリップ公園内では、チューリップが多く咲くチューリップ繚乱花壇付近のカウントが一番多くなった
- 2カ所の通路でカウント数に大きく差が出た。チューリップ四季彩館や砺波市美術館への動線として「通路B」が多く活用されたことがわかった
- チューリップ公園以外の近隣観光地に設置したビーコンにも少ないながらカウントがあった。チューリップフェアを軸に、近隣の他の観光地にも足を伸ばされることがわかった。

また、今回の実証実験で、課題もいろいろ見えてきました。

- 専用アプリのインストールが必要。今回はビーコンアプリと観光ナビアプリの2つを提供したため、利用者には個々のアプリをインストールする手間が発生した。1つのアプリインストールで様々なアプリ機能を統合できることが求められる。
- ビーコンの設置場所により、近づいても反応しにくいケースがあった。またスマホやタブレット端末によっても、同じ場所でも反応する・しないが分かれるケースもあった。アプリやスマホ端末・ビーコン端末の性能や信頼性の向上が必要。

今回はチューリップ公園を中心に、弊社サービスエリアである砺波市・南砺市・小矢部市の一部観光地にビーコンを設置し実証実験を行いました。今後は近隣のケーブルテレビ局と連携し、より広域で同一のアプリをもって取り組むことができると考えております。また、自社で提供するWi-Fi設置箇所との連携により、よりリッチな動画コンテンツ等の提供も検討していきます。

※iBeaconはApple Inc.の商標です。※iPhoneはApple Inc.の商標です。